



元気いっぱいひとみかがやけ 山下っ子



体験的な学びの大切さ



校長 川瀬 順一

6月に際立つのがアジサイの花。ピンクやブルー、ホワイトの色彩は、私たちの心をじんわりと明るくしてくれます。通学路にもいくつか咲いています。子供たちが登下校時、咲いているアジサイの花や葉に雨粒が落下し、下方の植物や昆虫等に移り渡る美しい光景に、しばらく足を止め、見入ってしまう、そんな素敵な経験をしてほしいなと思っています。なぜなら、幼い頃は「体験的に学ぶ」ことが大切だからです。学校生活の中にもいろいろな体験活動を散りばめています。しかし、子供にとっては、日常生活こそが貴重な体験活動の場であり、自分の周りで起こるできごと一つ一つが、自分がこれからどう行動すればよいかの判断材料(道しるべ)にもなると考えます。

さて、今年は、5月30日に南九州地方が梅雨入りしたらしいとの発表がありました。例年この時季は、連日の雨で予定や行動を変更しなくてはならないことが増え、何だか気分もすっきりしないこともあります。外遊びができない子供たちは、帰宅後や休日は、ご家庭でどのように過ごしているでしょうか。梅雨明けまで大雨になりやすい時季です。もし、水路の近くや崖下等で子供を見かけましたら、気を付けるよう声掛けをお願いします。子供たちにとって心躍るような本格的な夏の到来は、もうしばらく先になります。交通事故や水難事故にあわないよう、これからも学校・家庭・地域で子供を見守っていきましょう。

楽しかった宿泊学習

5月23日(火)、24日(水)、大川小、西目小と3校合同で薩摩川内市少年自然の家に行きました。初日は冒険の森でのオリエンテーリングや灯の集いを行いました(風の影響でキャンプファイヤーは中止)。二日目は、陶芸活動に励みました。児童の感想です。

- ・ 灯のつどいでは、ロウソクの火を見ながら、お父さんやお母さんの顔を思い出した。
- ・ 一番緊張したのは、ふとんたたみです。
- ・ 冒険の森(巨木くんだりとロープをにぎって下にくだる)がスリルがあつて楽しかった。けがをせずに終われてよかった。
- ・ 布団たたみが難しかった。
- ・ 湯飲みのようなものを作った。土をたたいてやわらかくするのに時間がかかった。
- ・ 大川小のみんなとはなれるのがさみしかったけど、とても楽しい宿泊学習でした。
- ・ いつも家事をしてくれる保護者がいないので、ふだんしてもらっていることに感謝することができました。

<これからの主な行事予定>

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 6月4日(日) 日曜参観 学校保健委員会(心肺蘇生法講習会) | 7月7日(金) 三尺棒踊り打ち合わせ会 |
| 7日(水) プール授業開始 | 8日(土) 校内水泳学習発表会・学級PTA |
| 10日(土) 土曜授業 5・6年グランドゴルフ | 第2回地域安全協議会 |
| 12日(月) 北薩教育事務所・市教育委員会合同訪問 | 第2回地域学校協働会議 |
| 集団下校 | 20日(木) 大掃除・終業式 |
| 13日(火) 栄養教諭による食に関する指導(1・2年) | 23日(日) 山下っ子親子読書の日 |
| 16日(金) 家庭学習パワーアップ週間(~22日) | 26日(水) 第2回学校運営協議会 |
| 20日(火) PTA役員会(18:30~) | 29日(土) みどこい祭り(予定) |
| 23日(金) 山下っ子親子読書の日 | |

日曜参観

6月4日(日)に行われました。どの学級も親子参加型の授業を実施しました。



保護者の方は児童との交流を楽しむことができました。



子供たちは、照れくささ半分、嬉しさ半分・・・かな。



看板づくり

日曜参観の日、生活指導部の方々
が中心となって、安全標語看板作り
を行いました。子供たちが事前に作
った標語を選び、卒業した児童の
看板との入れ替えを行いました。
恒例となっている取組なので、みな
さん慣れた手つきで、ペンキをぬり、
子供たちの作品を書き入れることが
できました。



春の一日遠足

5月24日(水)に、春の一日遠足を実施しました。子供たちがとても楽しみにしていた鹿児島市立科学館。地震体験やプラネタリウム観察など科学館ならではの活動ができました。



仲良し音楽

火曜日の朝は集会活動をしています。6日(火)は、5・6年生の発表。打楽器や吹奏楽器を合奏したり、今月の歌を手話を交えて発表したりしました。いろいろなことができる高学年にみんなで拍手でした。



心肺蘇生法講習会

日曜参観の日に行われました。今回は、5・6年生を交えての開催でした。保護者も児童も模擬演習を行いながら、AEDを使う順序を覚えたり、心肺蘇生法には体力が必要なことを学んだりすることができました。



職員室の窓から

阿久根市教育委員会だより5月号に「人間の体は使ったところが強くなります。これは単純な原理です。その反対、使わないところはどんどん弱くなります。これは心も同じです。いまの子どもたちにとって一番弱いところはどこか。それは、失敗に耐える心、恥に耐える心、カッコ悪さに堪える心だと思います。そして、自分の思いが通らないことを我慢する心です。」とありました。私としては、「やせがまんの価値」と理解しました。みなさんは、どう思いますか。